

平成21年度病害虫発生予察注意報第6号

平成22年 3月 5日
愛 知 県

作物名：ナス（施設）、キュウリ（施設）、イチゴ（施設）

病害虫名：灰色かび病

1 発生地域 県内全域

2 発生程度 多い

3 注意報発表の根拠

(1) 2月下旬の巡回調査の結果、平均発病果率はナスでは1.47%（平成0.57%）、キュウリでは1.00%（平成0.26%）、イチゴでは1.05%（平成0.56%）で、いずれも過去10年間と比較して最も高かった。

(2) 今後の天候は、降水量が多め、日照時間が少なめで、曇雨天の日が多いと予想され、発病に好適な条件が続くと思われる。

4 防除上注意すべき事項

(1) 発病葉や発病果（図）は感染源となるので取り除き、施設外へ持ち出し適切に処分する。

(2) 日中は施設内の換気を図り、夜間は暖房機を使って夜温を上げるなど、多湿にならないようにする。

(3) 発生を確認していない場合は、生物農薬（ボトキラー水和剤、インプレッション水和剤、エコショット等）を利用して予防に努める。

(4) 発生を確認した場合は、表を参考に、薬剤による防除の徹底を図る。

(5) 薬剤感受性の低下を避けるため、同一系統薬剤の連用を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

(6) 薬剤はラベルの表示事項を守り使用する。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除グループ

電話：0561-62-0085（内線471）



図1 ナス発病葉および果実



図2 キュウリ発病葉及び果実



図3 イチゴ発病葉及び果実

表1 ナス灰色かび病に対する主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	系統記号*
スミレックス水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	6回以内	A
ゲッター水和剤	1000～1500倍	収穫前日まで	5回以内	B+C
ベルコートフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	D
カンタスドライフロアブル	1000～1500倍	収穫前日まで	3回以内	E

*系統名は表4参照

表2 キュウリ灰色かび病に対する主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	系統記号*
スミレックス水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	6回以内	A
ベルコートフロアブル	2000倍	収穫前日まで	5回以内	D
カンタスドライフロアブル	1000～1500倍	収穫前日まで	3回以内	E
セイビアーフロアブル20	1000～1500倍	収穫前日まで	3回以内	F

*系統名は表4参照

表3 イチゴ灰色かび病に対する主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	系統記号*
スミレックス水和剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	A
カンタスドライフロアブル	1000～1500倍	収穫前日まで	3回以内	E
セイビアーフロアブル20	1000～1500倍	収穫前日まで	3回以内	F

*系統名は表4参照

表4 防除薬剤の系統

系統名	系統記号
ジカルボキシイミド系	A
N-フェニルカーバメート系	B
ベンゾイミダゾール系	C
グアニジン系	D
酸アミド系 (アニリド系)	E
フェニルピロール系	F